

未来がん医療プロフェッショナル養成プラン

下記により講義を行いますので、学生、教職員の方、多数ご来聴下さい。聴講は自由です。

記

Approach to Physical Symptoms in Palliative Care

「ライフステージ」

7月17日(火)「在宅医療における身体症状へのアプローチ」
要町病院 吉澤 明孝 先生

7月18日(水)「鎮静・臨死期の諸問題」
聖路加国際病院 林 章敏 先生

7月19日(木)「がん患者の呼吸器症状」
東京都立駒込病院 田中 桂子 先生

7月20日(金)「緩和ケアのこれから ～哲学・倫理的アプローチ～」
本学大学院医歯学総合研究科 三宅 智 先生

1 時限:18:30-19:50 2 時限:19:50-21:10 質疑応答 21:10-21:30
M&D タワー11F 大学院講義室 3

概要:

身体症状に対する緩和治療の意義、がん性疼痛、呼吸困難、倦怠感、浮腫等々多彩ながんに伴う症状の特徴とその対応を解説。さらに外来、一般病棟(緩和ケアチーム)、緩和ケア病棟、在宅医療の現場における身体症状への対応について具体的な事例を提示しながら解説し、疾患の全経過に関与する緩和医療のありかたについて理解を深められるよう講義を行う。

科目担当責任教員:本学大学院医歯学総合研究科 三宅 智 先生

【問い合わせ先 学務企画課大学院教務第一係 ☎4676】